

令和4年度 学校経営計画

学校名	石川県立金沢伏見高等学校
校長	川口 美江子

1 教育目標

誠実、聡明で品位があり、論理的な思考力や創造力を身につけた、社会に貢献できる心豊かな人間の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒の進路志望が多様である状況をふまえ、生徒一人一人の学力の向上、進路指導の充実に取り組んでいる。普通科高校として国公立大学等への進学実績を高めるとともに、地域で活躍できる人材の育成に努めている。
- ② 明るく素直な生徒が多く、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動をとおして、生徒が互いを認め合い、自己肯定感を育んでいる。

(2) 生徒の望ましい在り方

- ① 基本的な生活習慣を身に付け、規律ある高校生活を送る中で、将来、社会に貢献でき、心豊かな生き方ができるよう成長する。
- ② 学びの良さを知り、授業を基本としながら、家庭学習習慣の確立を図り、学力を充実させる。
- ③ 生徒会活動や部活動、学校内外の行事や体験活動をとおして、主体性、協調性、ボランティア精神を育む。
- ④ 一人一人の興味・関心、能力、適性に応じた進路目標を掲げるとともに、より高い目標に挑戦し達成しようという意欲を持つ。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の使命、今後あるべき姿を共有し、様々な教育活動が有機的に機能するよう組織的・機動的な学校運営に参画する。
- ② 教材と指導法に関する研究に励みつつ、公開授業や授業評価等をとおして互いに高め合い、不断に授業改善に努める。
- ③ 進路研究を深め、指導法の研究・開発を重ね、中堅進学校としての地歩を固める。
- ④ 学校の教育活動を保護者・地域・中学校等に積極的に広報し、地域から信頼される魅力ある学校づくりに努める。
- ⑤ ワークライフバランスをとりながら、自らの人間性を高め、活力を養い、より効果的な教育活動を行う。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒があらゆる場で誠実さ・聡明さ・品位・心の豊かさを追求できるよう、教職員は安全で規律ある安心できる学校生活を日々実現する。
- (2) 生徒が学習意欲を高め主体的に学ぶ態度と方法を体得できるよう、教職員は深い学びの実現に向けて授業改善を重ね、評価の研究を進める。
- (3) 生徒がより高い進路目標を掲げその実現に向けて邁進できるよう、教職員は総力を挙げて生徒一人一人の進路実現を支援する。
- (4) 生徒が生徒会活動・部活動・学校内外の行事・体験活動を積極的に行い成長できるよう、教職員は主体性を引き出す働きかけに努める。
- (5) 新型コロナウイルスの感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減した上で学校運営を継続し、生徒の様々な学習の場面を保障する。
- (6) 教職員は(1)(2)(3)(4)(5)の実現のため、より効率的かつ効果的な業務遂行を図り、組織的な業務改善策を提案する。
- (7) 教職員は、担当する教育活動の成果等について、保護者や地域に対し迅速かつわかりやすく学校HPや印刷物等を活用して報告する。